



はいにんちょ。

松之山自治振興会広報紙

Vol. 70

2023年6月10日発行

令和5年度の活動に向かって 会長 樋口 一次

日ごろより、自治振興会事業にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて約3年間大変な思いをさせられてまいりました新型コロナウイルス感染症は5月8日より季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行され、感染対策と医療は個人や事業者の判断に委ねられることとなりました。決してなくなったわけではありませんが、一応の区切りができました。

松之山自治振興会では、地域が元気になるような活動を行っている団体（地域協議会、集落、老人クラブ、ボランティア団体など）が主体となり、広く地域住民の参加で行う事業を「まちづくり事業」として実施しています。今年度は4月の総会で下の表の10団体を採択し、総額139万円の補助金が決定しています。これまでに十分な活動ができなかった分を、今年度は取り戻すような気構えで頑張っていたきたいと思います。

人口減少が続いている松之山（4ページの人口参照）。このままでは私たちの暮らしは一層衰退しかねません。そのような中でも、地域外からやってきた人たちが周囲と好環境を築くことで活気や新しい動きが生まれています。働きかけて移住者を受け入れることも、ひとつのチャンスになるのではないのでしょうか。

都市住民が農山漁村へ定住を希望する

「田園回帰」の流れが出てきました。十日町市移住コンシエルジュには、月に数十件の問い合わせが寄せられるようになり、実際に転入する人も増加しています。移住を検討してもらうには地域の状況をきちんと伝える必要があります。新しい隣人になる人が増え、より活力ある郷土と暮らしの充実を目指すため、皆さんがご持ちの地域の情報を自治振興会にぜひお寄せください。

さて市企画政策課では官民が連携して取り組む「移住・定住・交流推進事業」を活用し、「雪里留学」をメインとした体験型モニターツアーを実施することで、まつのやま学園への入学者と移住者の増加を目指す取り組みも計画されています。

小中一貫校まつのやま学園は、子どもたちにとって魅力ある学校であり、保護者にとっても子どもを通わせてみたい学校を目指します。松之山の豊かな自然と安心安全な生活文化、風土を生かした短期交流事業及び移住定住事業を積極的に推進し、交流人口の拡大と活気ある地域づくりに一層のご協力をお願いいたします。

令和5年度まちづくり活動事業には下記10団体が取り組みます。

No.	団体名	事業内容
1	松之山安吾の会	安吾ゆかりの地松之山大棟山美術博物館を活用したイベント
2	老人クラブ連合会	活動が困難になる冬期間に、みんなで集える「いこいの場」を開催する
3	浦田地区芸能祭実行委員会	浦田全域を対象とした、今回34回目となる一大イベント
4	布川地区協議会	クロモジや杉などを使った松之山オリジナル精油の開発と活用
5	松之山野鳥愛護会	「松之山子ども野鳥の会」を、4月から11月までの毎月計8回開催する
6	ひのき屋ライブ実行委員会	プロのライブ演奏を、子供から大人まで気軽に楽しんでもらう
7	浦田地区協議会	地域の交流人口増を目指す「いつとき来てみね会事業」の展開
8	縄文ノ和 黒倉	集落通年事業の一環として、醸す森とコラボした「黒倉新そば祭り」開催
9	松之山を遊びつくす会	みんなの田圃づくり、みんなの畑づくり、松之山の暮らし体験講座
10	黒倉集落	旧黒倉分校跡地周辺のコミュニティ広場づくり

★☆☆松之山移住応援サイト「松之山で暮らそう」を公開しました！

サイト名称：新潟県十日町市松之山地域移住応援サイト「松之山で暮らそう」

URL <https://matsunoyama-iju.com/>

生まれたてのサイトです。皆様のお力をいただき育てていきましょう。



松之山分校の学びを引き継ぐ松代高校の取組について

県立松代高等学校長 今井 亮二

松代高校は、昭和23年6月1日に新潟県立安塚農業高等学校松代分校として開校し、昭和26年に旧松代村立松代高等学校として独立、その後、昭和29年に新潟県立松代高等学校となった全日制普通科の高校です。

その松代高校は、今年度から新たな役割を担うこととなりました。それは、松之山分校との統合に伴い、「松之山分校の学びを引き継ぐ」というものであります。今年度から設置した地域探究コースの活動においても、松代地域だけでなく、松之山地域のフィールドも活用しながら、取り組んでいます。

4月26日(水)、松之山分校が実施する「美人林」清掃に、松代高校の一年生も参加することとしました。当日はあいにくの雨だったため、美人林を守る会（「森の学校キヨロロ」学芸員）の小林誠様から、講話をいただき、雪国におけるブナ林の特徴や役割について学びました。両校の生徒からは、「自然を維持する大切さを知った」「ボランティア活動にも参加したい」などの声がありました。

5月23日(火)には、新潟大学の学生から、松之山地域での探究プロジェクトについて、講演をしていただきました。新潟大学の地域密着型プロジェクトの一つ、「ほりごたつ」の活動として松之山地域に入り、地元の方たちと一緒に自然と共生した米作り

取り組む中で、「地域の人たちの人柄に触れ、松之山が大好きになった」と、自分の体験についてお話しされました。

また、これまで松之山地域の皆様が運行してきたスクールバスについては、松代高校後援会が引き継ぎ、県教育委員会の支援を受けながら、運行を行っています。松之山分校前から松代高校に行くバスも、往復で運行していますので、今後、松代高校への通学に利用していただきたいと思います。

松之山分校はこれまで、一人一人の生徒に応じたきめ細かな指導や、地域の皆様と連携した体験活動など、「日本一面倒見のよい学校」を目指した取組を進めてきたものと承知しています。そうした松之山分校の学びを引き継ぐことは、たいへんな重責ではありますが、精一杯その役割を果たしていきたいと考えています。

□この春の新生入生から、松之山分校は発展的統合で松代高校にその学びが引き継がれました。新年度が始まり2か月が経過しましたので、学校の取り組みなどについて今井校長に寄稿をお願いしました。

□今井校長は3月まで県の教育委員会に在籍し、松高支援連絡会との話し合いの窓口として動いていただき、松高の学びを熟知されています。松之山郷の魅力ある高校づくりに、地域の皆様もぜひ関心を向けてください。【事務局】



津南方面から松之山分校、松代高校へ運行するスクールバス



美人林の講話（松之山分校体育館）に松代高校の生徒も参加

□歳入の部

【十日町市交付金】 決算額6,149千円

- ① 集落安心づくり事業交付金：26組織×100千円
- ② 自治協働事業交付金：①を除く事業に配分できるお金

【自主財源】 決算額2,448千円

- ① 会費 349.5千円（500円×699世帯） ② 繰越金 834.5千円 ③ 雑収入 264千円（景観資金等）
- ④ 応援寄付金会計からの繰入金 1,000千円

【緑の百年物語緑化助成事業関連補助金】 決算額529千円

※国土緑化推進機構の事業年度が7月から翌年6月につき、補助金800千円は翌年度繰越しとなります。

【市補助金】 決算額725千円

- ① 認定外道路整備事業補助金 225千円 ② 移住定住促進事業補助金 500千円

□歳入決算総額 9,851千円

□歳出の部

【総務・事業部会】

□総務防災環境対策費 決算額909千円（当初予算額1,716千円）

- ① まちづくり活動事業補助金：8団体で1,060千円の予算でしたが、コロナ禍で4団体が中止となり560千円の決算となりました。
- ② 広報事業費：「はいこんちよ」の発行（4回）に係る用紙代・印刷費・その他で182千円の決算となりました。
- ③ 防犯活動・交通安全推進事業費：12月25日に開催した松之山地域交通死亡事故「ゼロ」10年達成記念式典に50千円を支援しました。
- ④ 自主防災組織強化事業費：組織で保有管理するAEDに対する支援ですが、年度内の申請はなく0円でした。
- ⑤ 教育関連事業への助成事業費：保育園保護者会活動、松高生の地元企業訪問説明会、まつのやま学園への防災ずきんの継続配布、スポーツ優秀競技者への表彰の計117千円の決算です。なお社会福祉協議会主催の「松之山みんなの食堂」は全計画が中止となりました。

□福祉文化対策費 決算額3,194千円（当初予算額3,220千円）

- ① 集落安心づくり事業費：松之山集落で二つ目の組織を立ち上げたことで、これまでの25から26組織になりました。単組織当たり10万円の助成で、2,600千円の決算となりました。
- ② 敬老会助成事業費：老人クラブや集落が主催し全集落で実施しました。75歳以上の539人に1千円づつ、計539千円の決算となりました。
- ③ 郷土文化伝承事業費：湯米心で取り組んでいる野鳥こけしづくりの後継者育成対策に42千円を支援しました。
- ④ 名老百選事業費：新たに5名の名老を認定しました。認定式典費用として13千円の決算となりました。

□産業観光交流対策費 決算額2,174千円（当初予算額3,435千円）

- ① 地域内イベント助成事業費：各種イベントへの支援ですが、コロナ禍の影響で産業祭や湯鳥駅伝、真夏の雪まつりが中止となり、長縄跳び大会とスキーカーニバルへの支援のみで72千円の決算となりました。
- ② 交流事業費：コロナ禍で3年ぶりの開催となった東京松之山会創立33周年大会への参加（21名参加）と、埼玉県加須市への役員訪問経費で、365千円の決算となりました。
- ③ 獣害対策費：講習会を予定していましたが、JA十日町等が実施していることから事業見直しすることになり、決算は0円となりました。
- ④ 緑の環境整備事業費：美人林内整備の最終年事業、湯の森公園管理事業、キョロロの森を育てよう事業などを、にいがた緑の百年物語緑化助成事業、国土緑化推進機構助成事業、市単助成事業を受けて実施しました。全体で1,737千円の決算となりました。

【移住定住教育環境促進部会】 決算額916千円（当初予算額150千円）

- ① 新部会スターティング事業費：市の補助を受けて移住定住専用のホームページの開設と情報チラシを作成し配布しました。決算は827千円となりました。
- ② まつのやま学園支援活動事業費：優秀成績達成児童生徒の懸垂幕を作成設置しました。89千円の決算です。

【まつのやま青年女性まちづくり部会】 決算額33千円（当初予算額150千円）

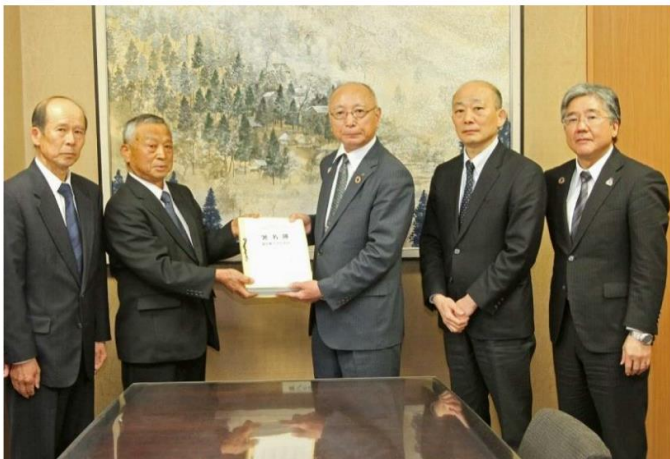
- ① 新部会スターティング事業費：今後の活動を検討するための講師派遣料として33千円の決算です。

【事務局費・予備費】 決算額2,011千円（当初予算額1,940千円）

役員42名分の報酬・費用弁償・旅費・事務局員の賃金、支所に払う年間の印刷費、郵便料金、賛助会費、広告掲載費など、事業を実施するための諸費用全般。

□歳出決算総額 9,237千円 □次年度繰越金 614千円

JA 十日町松之山支店機能の見直し案に係るこれまでの対応



左から中島副会長、樋口会長、柄澤経営管理委員長、佐藤代表理事理事長、重野専務理事
【4月18日 JA 十日町本店にて】

の要望で柄澤会長他3名の幹部に松之山に出向いていたが、計画の詳細説明を受け意見交換を行いました。この段階での再考の余地はなく早急な対応が必要と判断し、3月31日から署名活動を開始しました。

各地区協議会長から集落長・班長を通して短期間にとりまとめていただき、4月12日には全住民1,668人の76.3%に及ぶ1,272人の署名が集まりました。各地区・集落役員及び、地域の皆様に厚く感謝申し上げます。

2月17日開催のJA十日町松之山地区運営委員会で、JA十日町が進める新たな店舗機能の見直し案が示され、その中で松之山支店機能の大幅な縮小が組み込まれていました。これは地域にとって重大な問題であることから、自治振興会で急遽計画の見直しを求める活動に取り組むこととしました。

組合員で構成されるJAの最高決議機関は、各地域から選出される総代からなる総代会ですが、数の原理から少数意見が反映されることは困難です。そこでJA十日町経営執行役員トップの柄澤経営管理委員長に、計画の再考を求める署名請願書を提出し、地域住民の切実な思いを直接伝えることにしました。

署名活動の実施に先立ち、3月28日には当理事会

皆様の思いが詰まった署名請願書は、4月18日に正副会長がJA十日町本店を訪れ柄澤会長にしっかりと手渡し、人口減少が進む中で将来的な経営戦略の見直しは必要であることは理解できるものの、組合員あつての農協であり、ほとんどの住民が松之山支店を頼っている地域性を十分考慮した見直しに再考するよう強く訴えました。

店舗機能の見直し案件は、6月10日(土)に開催されるJA十日町第25回通常総代会に議案として提案されることになっています。

松之山まちづくり応援寄付金をいただきました。【R5.6.4まで】

ありがとう



おところ	お名前
成田市	若月 桂子 様
一般1名様	10,000 円

◇編集後記◇

新型コロナ5類移行により、地域活動や交流活動が元気になってきました。先日上野で開かれた東京三省会に参加しましたが、たまたま会場で中学校の同級生4名にばったり。次週に開催する松之山小学校友会の打ち合わせとのことで、こちらの会の3名を合わせて思いがけないプチ同級会となりました。姿かたちは変われども(?)何十年経ってもお前、俺で話せる仲はいいなあ。

K.Nakajima

□ 理事・代議員変更のお知らせ □

当会の役員任期は令和6年3月までの2カ年ですが、所属組織の役員改選により次のとおり変更となりました。

新理事：小野塚 賢 (松里地区協議会長)
(前理事：高橋主計)

新理事：佐藤 三雄 (浦田地区協議会長)
(前理事：飯塚哲郎)

新代議員：石塚 一久 (浦田地区選出)
(前代議員：佐藤三雄→理事就任)

【お断り】 今号ではR4年度一般会計決算のみ掲載しました。R5年度予算と基金会計は次号に掲載します。



松之山自治振興会 事務局



<https://www.facebook.com/hai.koncho>

☎942-1406 新潟県十日町市松之山1597-2 (松之山支所 地域振興課内)

☎:025-596-3131 fax:025-596-3515 E-mail: m_jichishinkoukai@yahoo.co.jp

【松之山の人口5月末】 総人口1,660人 (男795人 女865人) 世帯数：774世帯
(総人口 前月比：-5人)